



モリオン ろじいちゃん のみいちゃん かわるん
エコちゃんず

平成 27 年度 環境教育・学習事業実施結果一覧

ろじいちゃん のみいちゃん
エコちゃんず

川崎市環境教育・学習基本方針

～環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドライン～

かわるん
かわるんキャラクター
「かわるん」

はじめに

地球温暖化や失われつつある生物多様性、資源循環などの様々な環境問題に対処していくためには、市民、事業者、行政などの様々な主体が環境に配慮した行動を実践していくことが重要です。そのため、**家庭や地域、学校、職場などの様々な場面において環境教育・学習を推進して環境に関する理解を深め、行動に結びつけていく必要**があります。

本市では、平成 7 年 11 月に環境教育・学習を推進するためのガイドラインとして「川崎市環境教育・学習基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定し、普及啓発事業の充実や市民、事業者の参加による地域づくり等の各種の取組を進め、現在では、市民、事業者、学校などの行政以外の様々な主体においても積極的に環境教育・学習の取組が行われています。

平成 28 年 3 月には、様々な主体や世代が相互に協力して学び合い、地域全体で環境教育・学習を発展させていくための仕組みづくりに向けて、基本方針を改正しました。この仕組みづくりとして、**環境教育・学習の充実の視点として「つながる」、「伝える」、「活かす」という 3 つの基本的な方向性**の体系に整理し、分野横断的に取組を推進することとしています。

その基本方針に沿って環境教育・学習を着実に進めていくため、毎年度、「環境教育・学習事業実施結果一覧」として実績報告をとりまとめ、事業の進捗状況を確認し、課題等を把握し、必要に応じて基本方針の見直しを図ることとしています。

今回の報告書では、平成 27 年度における事業実施結果の一覧のほか、基本方針の改正で新たに定めた 3 つの基本的な方向性ごとに実施事業を整理しました。

<p>協働取組の推進【つながる】 市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none">・川崎の地域資源を活用したつながり (環境教育に関する情報共有の協働・連携プラットフォームの形成)・環境教育・学習に関する協働への支援 (環境教育支援ポータルサイトの開設)
<p>環境教育・学習を地域で実践【伝える】 家庭や職場、地域、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促す</p>	<ul style="list-style-type: none">・関心を引きつけて行動を促す取組 (家庭、職場、地域ごとの戦略的アプローチ)・成長過程に応じた取組 (幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校・大学での教育)
<p>人材育成とその活用【活かす】 環境教育の持続的な発展に向けて、地域環境リーダー等の人材育成や環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進</p>	<ul style="list-style-type: none">・コーディネーターの育成・活用 (人と地域を結ぶコーディネーターの育成)・環境教育・学習に係る拠点・施設の充実 (民間事業所の体験の機会への場への認定)

目次

第1章 環境教育・学習の実施状況の概況.....	1
(1) 平成22～27年度における実施状況の推移.....	1
(2) 川崎市地域環境リーダー育成講座の修了人数.....	1
第2章 基本的な方向性「つながる」の取組状況.....	2
(1) 川崎の地域資源を活用したつながり.....	2
ア 「環境技術の集積」でつながる.....	2
イ 「河川や丘陵地等の豊かな自然」でつながる.....	2
ウ 「数々の環境教育・学習の拠点」でつながる.....	3
エ 「地域における活発な取組」でつながる.....	4
(2) 環境教育・学習に関する協働への支援.....	4
第3章 基本的な方向性「伝える」の取組状況.....	5
(1) 関心を引きつけて参加を促す取組.....	5
ア 家庭での取組.....	5
イ 職場での取組.....	5
ウ 地域での取組.....	6
(2) 成長過程に応じた取組.....	7
ア 幼稚園・保育所等での取組.....	7
イ 小・中学校での取組.....	7
ウ 高等学校・大学での取組.....	8
エ 自発的な意思を尊重した取組.....	8
オ 効果的な情報発信.....	8
第4章 基本的な方向性「活かす」の取組状況.....	9
(1) コーディネーターやファシリテーターの育成とその活用.....	9
(2) 環境教育・学習に係る拠点・施設の充実.....	9
第5章 平成27年度環境教育・学習事業実施一覧.....	10
第6章 環境教育・学習の取組状況の評価.....	14
参考.....	15
(1) 川崎市における環境教育・学習の位置づけ.....	15
(2) 環境教育・学習を取り巻く世界、国及び川崎市の動き.....	16

第1章 環境教育・学習の実施状況の概況

(1) 平成22～27年度における実施状況の推移

環境教育・学習の取組状況の把握及び情報の共有化を図るため、川崎市では平成22年度実施分から毎年度、「川崎市環境教育・学習実施結果一覧」を作成し、ホームページで公開しています。

平成22年度から平成27年度までの川崎市関連の環境教育・学習の年間実施件数及び参加人数の推移は次のグラフのとおりです。



(2) 川崎市地域環境リーダー育成講座の修了人数

平成10年度から地域環境リーダー育成講座を開始しています。平成27年度までに延べ301人が地域環境リーダーとなり、地域で活躍されています。

年度	期	人数	年度	期	人数
平成10年	第1期	21	平成19年	第10期	18
平成11年	第2期	12	平成20年	第11期	20
平成12年	第3期	17	平成21年	第12期	11
平成13年	第4期	17	平成22年	第13期	17
平成14年	第5期	18	平成23年	第14期	19
平成15年	第6期	20	平成24年	第15期	15
平成16年	第7期	17	平成25年	第16期	16
平成17年	第8期	12	平成26年	第17期	12
平成18年	第9期	30	平成27年	第18期	9

第2章 基本的な方向性「つながる」の取組状況

(1) 川崎の地域資源を活用したつながり

ア 「環境技術の集積」でつながる

川崎市は、かつて深刻な公害を経験しました。公害克服に向けた取組の過程において培ってきた優れた環境技術の集積は、現在では川崎市の大きな強みとなっており、環境技術を通じて世界貢献に取り組んでいます。

環境教育・学習に関する平成27年度の取組としては、川崎国際環境技術展や川崎ゼロエミッション工業団地でのエコイベント等の開催を通じて様々な主体との交流を促進する普及・啓発や、海外からの研修生の人材の育成が行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
環境出前授業(川崎国際環境技術展イベント)	6	201
作って体験!夏休みエコ学習(ゼロ・エミッション工業団地)	5	145
環境技術研修生(上海市)の受け入れ(国際経済推進室)	1	2
環境技術研修生(瀋陽市)の受け入れ(環境総合研究所)	1	2
合計	13	350

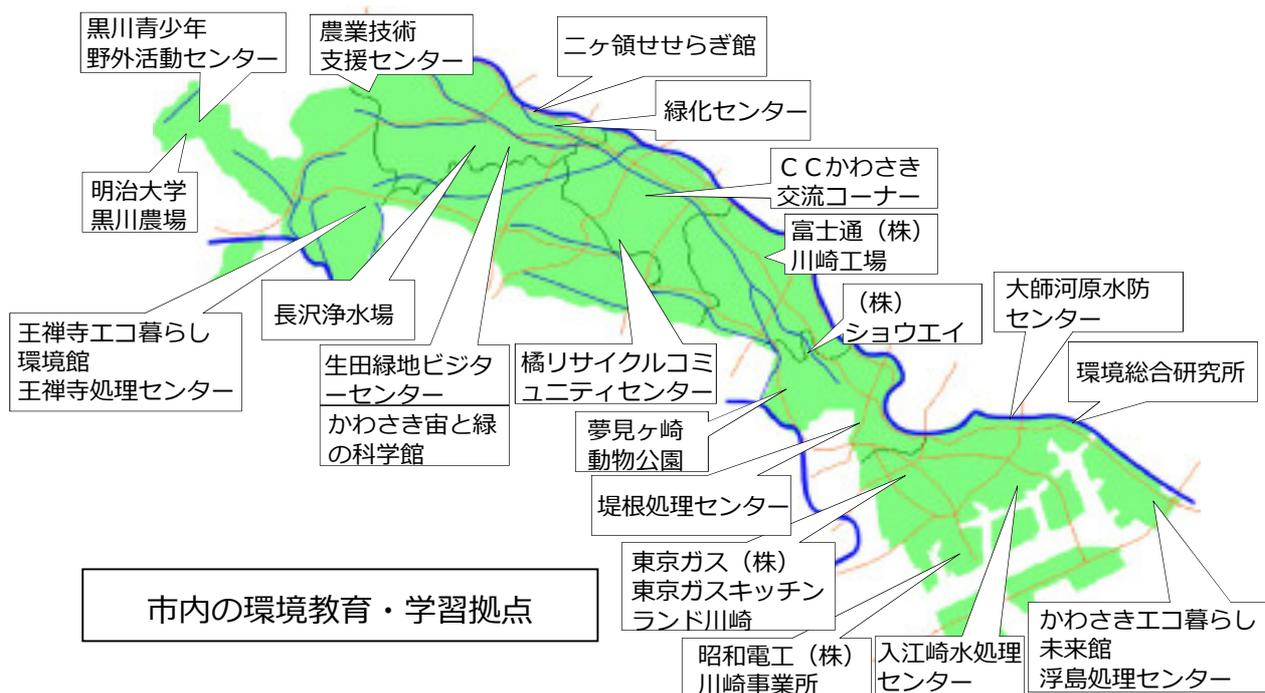
イ 「河川や丘陵地等の豊かな自然」でつながる

川崎市は、多摩川や多摩丘陵とその丘陵を流れる鶴見川や中小河川、東京湾など、様々な自然環境が豊富にあります。平成27年度は、生田緑地等の公園での自然観察など、人と自然、自然と生き物のつながりを理解してもらおう講座や人材育成等が行われました。



取組内容	取組回数	参加人数
生田緑地観察会(かわさき宙と緑の科学館)	29	1,055
自然ワークショップ(かわさき宙と緑の科学館)	13	1,030
自然観察会(かわさき宙と緑の科学館による生田緑地以外での観察会)	2	49
子どものための昆虫学教室【新規】(かわさき宙と緑の科学館)	3	51
子どものための植物学教室【新規】(かわさき宙と緑の科学館)	3	32
初心者のための植物観察講座(かわさき宙と緑の科学館)	3	73
ふるさと資産・遺産活用推進事業(多摩川の渡し場イベント)	4	349
水辺の楽校プロジェクト(かわさき、とどろき、だいし水辺の楽校)	36	2,873
環境学習推進事業(ニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター等)	41	2,980
かわさき多摩川博事業(多摩川の魅力・情報を発信するイベント)	5	886
こども黄緑クラブ(川崎市公園緑地協会による子ども対象イベント)	4	137
身近な自然を再発見するエコツアー【新規】(小杉地区)	1	29
水環境体験ツアー(市内の湧水地から海までの水循環を巡るイベント)	1	40
多摩川河口干潟の生きもの観察会(環境総合研究所)	5	169
合計	150	9,753

ウ 「数々の環境教育・学習の拠点」でつながる



取組内容	取組回数	参加人数
かわさきエコ暮らし未来館 環境教室	6	390
CCかわさき交流コーナー パネル展示及び関連講演会	12	607
環境総合研究所 夏休み環境科学教室 こども環境科学教室 環境科学セミナー 多摩川河口の野鳥観察会 かわさき星空ウォッチング in キングスカイフロント 環境セミナー オープンラボ 2015	4 2 3 1 1 1 1 1	100 57 28 42 57 44 32
橘リサイクルコミュニティセンター 講座等	125	711
廃棄物処理施設 施設見学受け入れ	116	7,801
ニヶ領せせらぎ館 環境学習推進事業等	50	2,115
大師河原水防センター 環境学習推進事業等	60	2,604
夢見ヶ崎動物公園 サマースクール 幸区動物愛護教室 職場体験学習 小学校での動物講座 実習受け入れ 見学受け入れ 動物園まつり 飼育の日	1 1 8 5 14 2 2 1	15 20 23 480 16 3 10,000 2,000
長沢浄水場 浄水場施設見学受け入れ	1	11,176
合計	417	38,321

エ 「地域における活発な取組」でつながる

地域における活発な取組も、地域の環境活動を支える地域資源となります。平成 27 年度も花と緑の市民フェアなどの様々な機会における活動団体同士の交流や環境活動等を通じた学習が行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
多摩川美化活動	1	14,754
市内統一美化活動（住居周辺、駅前広場、歩道等での清掃活動）	1	44,342
CCかわさきエコ会議シンポジウム（地球温暖化関連）	1	85
カードゲームで環境問題を学ぼう（すくらむ 21 まつり内で実施）	1	100
花と緑の市民フェア（花と緑を暮らしのなかにを合言葉としたイベント）	1	61,000
環境保全型農業技術講習会（セレス川崎農業協同組合での講演）	1	80
フリーマーケット（かわさき市民まつりで実施）	1	50
わがまち花と緑のコンクール事業（ガーデニングの表彰）	1	110
かわさき緑のカーテン（ゴーヤー等の種子をイベントなどで配布）	1	43,000
かわさきみずみずフェア（6月1日～7日水道週間のイベント）	1	885
合計	10	164,406

(2) 環境教育・学習に関する協働への支援

各主体による環境教育・学習の推進に向けた協働・連携の支援として、平成 27 年度は、環境教育・学習支援ポータルサイトを開設して情報提供を強化したほか、川崎市市民活動センターによる市民活動の支援、緑のカーテン作戦のためのゴーヤーの種子配布などの様々な支援も引き続き行われました。



取組内容	取組回数	参加人数
環境教育支援ポータルサイトの開設【新規】	—	—
かわさき市民活動センターによる市民活動の支援	—	—
かわさき市民公益活動助成金の交付(かわさき市民活動センター)	—	44
地球に美味しい「エコ・クッキング」事業（小学校等で実施）	3	64
くらしのセミナー（消費者行政センターから要望に応じて講師を派遣）	2	77
夏休み親子向け消費者教育講座	1	11
幸区 緑のカーテンの作成とゴーヤーの種子配付	1	200
多摩区エコロジーライフ事業(温暖化防止に向けた区民との協働事業)		
地域イベントへのリユース食器の貸出し	3	2,000
緑のカーテン作成とゴーヤーの種子配布	1	200
合計	11	2,596

第3章 基本的な方向性「伝える」の取組状況

(1) 関心を引きつけて参加を促す取組

ア 家庭での取組

一人ひとりが日常生活において、省エネや3R、節水などの環境配慮行動を実践につなげていくため、日常の生活の中で環境について考え、環境に配慮した行動を取り入れられるよう様々な情報の提供や支援が重要となります。平成27年度は、大人を対象とした体験型講習会などが開催されました。

取組内容	取組回数	参加人数
市民向けエコドライブ講習会（座学によるエコドライブ講習）	2	189
生ごみリサイクル講習会（生ごみを堆肥にリサイクルする講習会）	4	56
ふれあい出張講座（町内会・自治会等の集会への職員の派遣）	99	9,157
3R推進講演会（ごみ分別やリサイクルに関する講演会）	1	500
化学物質対策セミナー等（化学物質による環境汚染や環境リスクの講習）	5	292
合計	111	10,194

イ 職場での取組

地球温暖化や廃棄物問題などの様々な環境問題を克服し、将来にわたって安全で安心に暮らせる持続可能なまちづくりを目指すためには、事業者による環境と経済の好循環に向けた取組の充実が必要です。

平成27年度も事業者を対象とした講演会等を開催したほか、市の職員自らの環境配慮活動の実践のための職員研修なども行われました。

取組内容	取組回数	参加人数
電子マニフェスト操作研修（産業廃棄物管理票のパソコン操作研修）	4	38
電子マニフェスト導入説明会（産業廃棄物の電子マニフェスト説明会）	1	41
廃棄物処理施設設置者等講習会（廃棄物の適正処理等の講義）	1	104
川崎区 職員に対するエコ推進活動	10	66
上下水道局新規採用職員研修（水道、工業用水、下水道の講義）	1	29
交通局 エコドライブ指導者研修	1	3
合計	18	281

ウ 地域での取組

平成 27 年度も各地域において様々な環境教育・学習の取組が行われました。

地域	取組内容	取組回数	参加人数
川崎区	教育文化会館市民自主企画事業「フリースペース リフォーム工房」	17	361
	緑のカーテン植栽講座	12	357
	川崎区エコプロジェクト事業（植栽活動）	6	140
幸区	さいわい子どもエコフェア	1	800
	廃食油回収による資源循環アピール事業(平成 27 年度幸区提案型協働推進事業)	6	59
	さいわい親子エコスクール事業（平成 27 年度幸区提案型協働推進事業）	5	227
	地球温暖化防止に向けた啓発パネルの作成	1	280
中原区	中原区エコカフェ	1	10,000
	エコ設備見学会	4	25
	花植講習会	1	37
	親子花植体験	2	23
	クリーングリーンなかはらキャンペーン	1	101
高津区	「エコシティたかつ」推進事業（学校流域プロジェクト）	14	1481
	「エコシティたかつ」推進事業（たかつの自然の賑わいづくり事業）	2	71
宮前区	宮前区民祭 花いっぱい運動	1	1,000
	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業	1	31
多摩区	多摩区エコロジーライフ事業（夏休み！多摩区エコフェスタ）	1	700
	多摩区エコロジーライフ事業（地球温暖化対策パネル展）	10	—
麻生区	麻生産菜種油を楽しもう！菜の花プロジェクト	20	1,352
	エコのまち麻生推進事業（麻生区クールアース推進委員会）	17	725
	麻生区里山ボランティア	11	414
	麻生の農と環境を考える（食育）～親子体験教室～	1	12
	緑のカーテン	1	312
	市民自主学級「岡上・さとやま探検隊」	5	20
	ダンボールコンポスト講習会	1	10
合 計		142	18,538

(2) 成長過程に応じた取組

ア 幼稚園・保育所等での取組

「幼児環境教育プログラム集」・
「幼児環境プログラム集活用事例集」
を川崎市と公益社団法人川崎市幼稚園
協会と協働で作成し、市内幼稚園の全
教諭に配布しています。

平成 27 年度は、180 冊を作成し、
幼稚園の新任の教諭に配布し、研修等で活用例を学び、園児に遊びを通じた環境教
育・活動を実践されています。



取組内容	取組回数	参加人数
幼児環境教育プログラムの普及（新任教諭への配布及び研修の実施）	1	180

イ 小・中学校での取組

小・中学生向けの環境副読本を作成したほか、多くの地域環境リーダーが参加して
いる川崎市地球温暖化防止活動推進員による環境出前授業の実施など、平成 27 年度
も、地域が学校と連携しての児童・生徒に向けた環境教育・学習が数多く行われまし
た。

取組内容	取組回数	参加人数
環境副読本（小学校、中学校用）	1	25,850
社会科副読本「くらしとごみ」	1	14,000
副読本「川崎市の水道」	1	14,500
副読本「川崎の下水道」	1	14,500
市内の生き物観察教材の作成（小学校向け）	1	13,700
小学生向け交通環境学習	1	115
出前ごみスクール	122	10,553
環境総合研究所 出前教室・小中学校総合学習授業	2	76
夢見ヶ崎動物公園 教育委員会向け研修	1	6
中原区 子ども環境授業	4	560
水道週間 川崎市小・中学生作品コンクール	1	14,095
川崎市小学生下水道作品コンクール	1	14,553
水道出前教室の実施	4	437
カッピーの下水道教室	5	457
総合教育センター 希望研修「理科教育」	1	53
総合教育センター 総合的な学習の時間研修講座	1	36
環境出前授業（環境教育ボランティア派遣事業）	22	2,301
合 計	170	125,792

ウ 高等学校・大学での取組

平成 27 年度の取組としては、環境・自然・地域との共生をコンセプトとした農業研究を行う明治大学黒川農場と連携した事業のほか、黒川の自然を活かした地域連携を進める和光大学とも、里山フォーラム in あさおや生物多様性の保全に向けた取組による連携を進めました。

取組内容	取組回数	参加人数
明治大学黒川農場との連携（生ごみリサイクル実証事業等連携事業）	—	—
和光大学との連携（里山フォーラム in 麻生等の地域連携）	—	—

エ 自発的な意思を尊重した取組

平成 27 年度は、地域環境リーダーの交流の場として、第 12 回エコ・フェスタかわさきを開催しました。

取組内容	取組回数	参加人数
エコ・フェスタかわさき	1	46

オ 効果的な情報発信

様々な主体同士の環境教育・学習の取組状況の共有に向けて、インターネットや月刊情報誌「環境情報」による的確な情報の公開のほか、地域住民自らが地元の川崎を良くしたいという気持ちになるよう、川崎への愛着・誇りを醸成する魅力発信も含めた効果的な情報発信が重要です。

平成 27 年度は、環境情報の発行に加えて、環境教育支援ポータルサイトを開設したほか、市民投稿型 GIS サイト「かわさき生き物マップ」を活用した身近な自然の中の生き物さがしの呼びかけを行いました。さらに、かわさき生き物マップ中に、投稿写真を川崎に生育・生息する生き物の紹介として活用する、「みんなでつくる生き物図鑑」の運用も平成 27 年度から開始しました。



取組内容	取組回数	参加人数
月刊誌「環境情報」の発行	—	—
環境教育支援ポータルサイト（再掲）	—	—
「ガイドマップかわさき かわさき生き物マップ」を活用した生き物情報の募集及び発信	—	1,546
環境計画年次報告書（上下水道局：ホームページでの公開）	1	0
合計	1	1,546

第4章 基本的な方向性「活かす」の取組状況

(1) コーディネーターやファシリテーターの育成とその活用

持続可能な社会づくりに向けた地域のネットワークの形成には、様々な人や組織の間の調整やネットワークづくりを担うコーディネーターと、各主体から問題意識や意欲を上手に引き出し、自発的な行動につなげていく役割を担うファシリテーターの存在が欠かせません。そのため、コーディネート能力やファシリテーション能力を持つ地域環境リーダーの育成を進めています。地域環境リーダー以外にも、様々な人材を育てる講座も行われています。さらに、育成した人材の活用も図っています。

平成27年度は地域環境リーダー、緑化推進リーダー、里山ボランティアとして57名が講座を修了し、これまでの地域環境リーダー育成講座及び平成22年度以降の緑化推進リーダー、里山ボランティア育成講座の修了生は延べ636名となっています。

取組内容	取組回数	参加人数
地域環境リーダー育成講座	10	9
花と緑のまちづくり講座 (緑化推進リーダー)	6	17
里山ボランティア育成講座	6	31
花壇ボランティア実践講座	5	24
生ごみリサイクルリーダーの派遣	47	936
合 計	74	1,017

(2) 環境教育・学習に係る拠点・施設の充実

川崎市には、市等の公の施設のほか、環境教育等促進法に基づく環境教育に係る体験の機会の場など、多くの環境教育・学習拠点や関連施設があります。この体験の機会の場の認定を拡大していくなど、体験・実践できる施設の充実を図るほか、パネル展の開催など、拠点からの情報発信の強化にも努めることとしています。

環境教育に係る体験の機会の場に認定している民間事業者（5か所）	
昭和電工(株)川崎事業所	使用済みプラスチックのアンモニア原料化を通じた環境教育（分別体験、化学実験、事業所見学等）
(株)ショウエイ	ろ過装置を利用した水、熱、電気の省エネ（ろ過実験、事業所見学等）
富士通(株)川崎工場	パソコン分解を通じて学ぶ3R（パソコンの分解体験・事業所見学）
明治大学黒川農場	アグリサイエンスアカデミー（農業体験等）
東京ガス(株)東京ガスキッチンランド川崎	環境に配慮した食の取り組み（講座、調理実習）

平成27年度年度も、環境教育に係る体験の機会の場として認定している事業者において、地域の市民を招いての体験型環境教育・学習が実施されました。

取組内容	取組回数	参加人数
認定体験の機会の場での環境学習	57	1,442

第5章 平成27年度環境教育・学習事業実施一覧

NO	局	主管課	取組名称	H27実施回数(回)	H27参加人数・配布枚数(人・枚)	H28実施計画(回)	事業開始年	事業の目的				対象世代				種別 基本方針の方向性		
								地球温暖化	ごみ・資源	生物多様性	地域環境保全	その他	未就学児	小学生	中学生		高校生以上	その他
1	市民文化局	市民活動推進課	多摩川美化活動	1	14,754	1	1978					○	○	○	○	○	つながる1-4	
2	市民文化局	市民活動推進課	市内統一美化活動	1	44,342	1	1979					○	○	○	○	○	つながる1-4	
3	市民文化局	市民活動推進課	かわさき市民活動センターによる市民活動の支援	—	—	—	1982					○				○	つながる2	
4	市民文化局	市民活動推進課	かわさき市民公益活動助成金	—	44		2004					○				○	つながる2	
5	市民文化局	人権・男女共同参画室	カードゲームで環境問題を学ぼう(すくらむ21まつり内で実施)	1	100	1	2013	○				○	○	○	○	○	つながる1-4	
6	経済労働局	国際経済推進室	作って体験!夏休みエコ学習	5	145	有	2005	○	○			○	○				つながる1-1	
7	経済労働局	国際経済推進室	環境出前授業(川崎国際環境技術展イベント)	6	201	有	2009	○	○		○	○					つながる1-1	
8	経済労働局	消費者行政センター	くらしのセミナー	2	77	2	1990					○	○	○	○	○	つながる2	
9	経済労働局	消費者行政センター	夏休み親子向け消費者教育講座	1	11							○	○	○	○	○	つながる2	
10	経済労働局	農業振興課	花と緑の市民フェア	1	61,000	1	1970		○			○	○	○	○		つながる1-4	
11	経済労働局	農業技術支援センター	環境保全型農業技術講習会	1	80	1	1999					○				○	つながる1-4	
12	経済労働局	国際経済推進室	環境技術研修生の受け入れ	1	2			○	○		○	○					つながる1-1	
13	環境局	環境調整課	地域環境リーダー育成講座	10	9	10	1995	○	○	○	○	○				○	活かす1	
14	環境局	環境調整課	エコ・フェスタかわさき	1	46	1	2005	○	○	○	○	○					○	伝える2-4
15	環境局	環境調整課	認定体験の機会の場での環境学習	57	1,442		2013	○	○	○	○	○	○	○	○	○	活かす2	
16	環境局	環境調整課	地球においしい「エコ・ッキング」事業	3	64		2006	○	○			○					○	つながる2
17	環境局	環境調整課	環境副読本	1	25,850		1978	○	○	○	○	○		○	○		伝える2-2	
18	環境局	環境調整課	幼児環境教育プログラムの普及	1	180	200	2003	○	○	○	○						○	伝える2-1
19	環境局	環境調整課	「ガイドマップかわさき かわさき生き物マップ」を活用した生き物情報の募集及び発信	—	1,546		2014		○			○	○	○	○	○		伝える4
20	環境局	環境調整課	身近な自然を再発見するエコツアー	1	29		2015											つながる1-2
21	環境局	環境調整課	市内の生き物観察教材の作成	1	13,700		2015											伝える2-2
22	環境局	地球環境推進室	「CCかわさき交流コーナー」を活用した普及啓蒙の取組	12	607	12	2010	○	○	○		○	○	○	○	○		つながる1-3
23	環境局	地球環境推進室	かわさきエコ暮らし未来館環境教室	6	390	6	2011	○	○			○	○	○	○	○		つながる1-3
24	環境局	地球環境推進室	CCかわさきエコ会議シンポジウム	1	85			○									○	つながる1-4
25	環境局	環境管理課	化学物質対策セミナー等	5	292	4	2004					○	○	○	○	○		伝える1-1
26	環境局	水質環境課	水環境体験ツアー	1	40	1	2013			○						○		つながる1-2
27	環境局	大気環境課	市民向けエコドライブ講習会	2	189	1	2004	○		○	○					○		伝える1-1
28	環境局	大気環境課	小学生向け交通環境学習	1	115	1	2014	○		○								伝える2-2
29	環境局	減量推進課	生ごみリサイクルリーダーの派遣	47	936		2007	○	○			○	○	○	○			活かす1
30	環境局	減量推進課	生ごみリサイクル講習会	4	56	4回	2003	○	○			○	○	○	○			伝える1-1
31	環境局	減量推進課	橋リサイクルコミュニティセンターの講座等	125	711		1993		○			○	○	○	○	○		つながる1-3
32	環境局	減量推進課	出前ごみスクール	122	10,553	125回以上	2005	○		○		○						伝える2-2
33	環境局	減量推進課	ふれあい出張講座	99	9,157	85回以上	2005	○		○		○	○	○	○	○		伝える1-1

NO	局	主管課	取組名称	H27実施回数(回)	H27参加人数・配布枚数(人,枚)	H28実施計画(回)	事業開始年	事業の目的				対象世代				種別	
								地球温暖化	ごみ・資源	生物多様性	地域環境保全	その他	未就学児	小学生	中学生		高校生以上
34	環境局	減量推進課	フリーマーケット	1	50	-	-	○				○	○	○	○	○	つながる1-4
35	環境局	減量推進課	社会科副読本「くらしとごみ」	1	14,000		1977	○				○					伝える2-2
36	環境局	減量推進課	3R推進講演会	1	500	1	1983	○				○	○	○	○		伝える1-1
37	環境局	廃棄物指導課	電子 маниフェスト操作研修	4	38	5	2014	○								○	伝える1-2
38	環境局	廃棄物指導課	電子 маниフェスト導入説明会	1	41	1	2009	○								○	伝える1-2
39	環境局	廃棄物指導課	廃棄物処理施設設置者等講習会	1	104	1	2002					○				○	伝える1-2
40	環境局	処理計画課	廃棄物処理施設見学	116	7,801	165団体(9,000人)の見学予定	-	○					○				つながる1-3
41	環境局	環境総合研究所	オープンラボ2015	1	32	1	2003	○			○	○		○			つながる1-3
42	環境局	環境総合研究所	多摩川河口干潟の生きもの観察会	5	169	5	2013			○	○	○		○	○	○	つながる1-2
43	環境局	環境総合研究所	夏休み環境科学教室	4	100	4	2013	○			○	○		○	○		つながる1-3
44	環境局	環境総合研究所	こども環境科学教室	2	57	2	2013	○		○	○	○		○	○	○	つながる1-3
45	環境局	環境総合研究所	環境科学セミナー	3	28	1	2013	○			○	○				○	つながる1-3
46	環境局	環境総合研究所	出前教室・小中学校総合学習授業	2	76	4	1999	○			○	○		○	○		伝える2-2
47	環境局	環境総合研究所	多摩川河口の野鳥観察会	1	42	1	2013	○		○	○	○		○	○	○	つながる1-3
48	環境局	環境総合研究所	かわさき星空ウォッチングinキングスカイフロント	1	57	2	2014						○	○		○	つながる1-3
49	環境局	環境総合研究所	環境セミナー	1	44	1	2013									○	つながる1-3
50	環境局	環境総合研究所	環境技術研修生の受け入れ	1	2			○	○		○	○				○	つながる1-1
51	建設緑政局	多摩川施策推進課	ふるさと資産・遺産活用推進事業(多摩川)	4	349	3回	2007						○	○	○	○	つながる1-2
52	建設緑政局	多摩川施策推進課	水辺の楽校プロジェクト	36	2,873	42	2005						○	○	○	○	つながる1-2
53	建設緑政局	多摩川施策推進課	ニヶ領せせらぎ館管理運営業務(環境学習推進事業含む)	50	2,115	50回	2005			○	○	○	○	○	○	○	つながる1-3
54	建設緑政局	多摩川施策推進課	大師河原水防センター管理運営業務(環境学習推進事業含む)	60	2,604	60回	2007			○	○	○	○	○	○	○	つながる1-3
55	建設緑政局	多摩川施策推進課	環境学習推進事業(多摩川河川敷等々力地区)	41	2,980	40回	2011			○	○	○	○	○	○	○	つながる1-2
56	建設緑政局	多摩川施策推進課	かわさき多摩川博事業	5	886	4回	2006						○	○	○	○	つながる1-2
57	建設緑政局	みどりの協働推進課	わがまち花と緑のコンクール事業	1	110	1	2005						○	○	○	○	つながる1-4
58	建設緑政局	みどりの協働推進課	花と緑のまちづくり講座	6	17	6	2001			○						○	活かす1
59	建設緑政局	みどりの協働推進課	里山ボランティア育成講座	6	31	15	2000			○	○	○				○	活かす1
60	建設緑政局	みどりの協働推進課	花壇ボランティア実践講座	5	24	5	2012			○						○	活かす1
61	建設緑政局	みどりの協働推進課	こども黄緑クラブ	4	137	4	2001						○	○	○	○	つながる1-2
62	建設緑政局	みどりの協働推進課	かわさき緑のカーテン	1	43,000	1	2008	○					○	○	○	○	つながる1-4
63	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	サマースクール	1	15	1	1974						○	○			つながる1-3
64	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	幸区動物愛護教室	1	20	1	2007						○	○	○		つながる1-3
65	建設緑政局	夢見ヶ崎動物公園	職場体験学習	8	23	10	1995						○		○	○	つながる1-3

NO	局	主管課	取組名称	H27実 施回数 (回)	H27参加人 数・配布枚 数 (人・枚)	H28実 施計 画 (回)	事業開 始年	事業の目的				対象世代				種別 基本方針の方 向性
								地球温 暖化	ごみ・資 源	生物多 様性	地域環 境保 全	未 就 学 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生 以 上	
66	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	小学校での動物講座	5	480	5	1975					○	○			つながる1-3
67	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	実習受け入れ	14	16	15	1992					○			○	つながる1-3
68	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	見学の受け入れ	2	3	5	2007					○	○	○	○	つながる1-3
69	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	教育委員会研修	1	6	1	2007					○			○	伝える2-2
70	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	動物園まつり	2	10,000	2	2001					○	○	○	○	つながる1-3
71	建設緑政 局	夢見ヶ崎動 物公園	飼育の日	1	2,000	1	2009					○	○	○	○	つながる1-3
72	川崎区	生涯学習支 援課	教育文化会館市民自主企画 事業「フリースペース リ フォーム工房」	17	361	なし	2013	○	○			○	○	○	○	伝える1-3
73	川崎区	保育所等・地 域連携	緑のカーテン植栽講座	12	357	10	2014	○	○			○	○		○	伝える1-3
74	川崎区	企画課	川崎区エコプロジェクト事業 (植栽活動)	6	140	6	2010	○	○			○	○	○	○	伝える1-3
75	川崎区	田島支所区 民センター	職員に対するエコ推進活動	10	66	10	2011	○							○	伝える1-2
76	幸区	企画課	さいわい子どもエコフェア	1	800	1	2014	○	○	○	○	○	○	○	○	伝える1-3
77	幸区	企画課	緑のカーテンの作成とゴー ヤーの種子配付	1	200	1	2008	○	○			○	○	○	○	つながる2
78	幸区	企画課	廃食油回収による資源循環 アピール事業(平成27年度 幸区提案型協働推進事業)	6	59	8	2015		○			○	○	○	○	伝える1-3
79	幸区	企画課	さいわい親子エコスクール事 業(平成27年度幸区提案型 協働推進事業)	5	227	なし	2013	○	○			○	○		○	伝える1-3
80	幸区	企画課	地球温暖化防止に向けた啓 発パネルの作成	1	280	なし	2015					○	○	○	○	伝える1-3
81	中原区	企画課	中原区エコカフェ	1	10,000	1	2010	○	○	○	○	○	○	○	○	伝える1-3
82	中原区	企画課	エコ設備見学会	4	25	なし	2011	○				○	○	○	○	伝える1-3
83	中原区	企画課	子ども環境授業	4	560	4	2011	○	○	○	○	○				伝える2-2
84	中原区	地域振興課	花植講習会	1	37	1	-			○		○	○	○	○	伝える1-3
85	中原区	地域振興課	親子花植体験	2	23	2	-			○		○	○	○	○	伝える1-3
86	中原区	地域振興課	クリーニンググリーンなかはら キャンペーン	1	101	1	2004	○	○			○	○	○	○	伝える1-3
87	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事 業(学校流域プロジェクト)	14	1,481	16	2009			○		○			○	伝える1-3
88	高津区	企画課	「エコシティたかつ」推進事 業(たかつの自然の賑わい づくり事業)	2	71	2	2010			○		○			○	伝える1-3
89	宮前区	地域振興課	宮前区民祭 花いっぱい運 動	1	1,000	1	-			○		○	○	○	○	伝える1-3
90	宮前区	地域振興課	花と緑のあふれる住みよい まちづくり事業	1	31	1	2011			○					○	伝える1-3
91	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業 (夏休み！多摩区エコフェ スタ)	1	700	1	2012	○	○			○	○			伝える1-3
92	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業 (地球温暖化対策パネル展)	10	-	1	2012	○	○	○	○	○	○	○	○	伝える1-3
93	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業 (地域イベントへのリユース 食器の貸出し)	3	2,000	3	2014		○			○	○	○	○	つながる2
94	多摩区	企画課	多摩区エコロジーライフ事業 (緑のカーテン作成とゴー ヤーの種子配布)	1	200	1	-	○		○		○	○	○	○	つながる2
95	麻生区	企画課	麻生産菜種油をしよう！ 菜の花プロジェクト	20	1,352	20	2014	○	○			○	○	○	○	伝える1-3

NO	局	主管課	取組名称	H27実施回数(回)	H27参加人数・配布枚数(人・枚)	H28実施計画(回)	事業開始年	事業の目的				対象世代					種別 基本方針の方向性	
								地球温暖化	ごみ・資源	生物多様性	地域環境保全	その他	未就学児	小学生	中学生	高校生以上		その他
96	麻生区	地域振興課	エコのまち麻生推進事業 (麻生区クールアース推進委員会)	17	725	20	2002	○				○	○	○	○	○	○	伝える1-3
97	麻生区	企画課	麻生区里山ボランティア	11	414	0	2012	○	○			○						伝える1-3
98	麻生区	企画課	麻生の農と環境を考える(食育)～親子体験教室～	1	12	1	2013	○	○					○				伝える1-3
99	麻生区	企画課	緑のカーテン	1	312	1	2009	○				○	○	○	○	○		伝える1-3
100	麻生区	生涯学習支援課	市民自主学級「岡上・さとやま探検隊」	5	20	3	2013			○				○				伝える1-3
101	麻生区	企画課	ダンボールコンポスト講習会	1	10	1	2013	○	○					○	○	○		伝える1-3
102	上下水道局	調整担当	環境計画年次報告書	1	0	1	2012							○		○	○	伝える4
103	上下水道局	庶務課	上下水道局新規採用職員研修	1	29	1	2011							○				伝える1-2
104	上下水道局	サービス推進課	かわさきみずみずフェア	1	885	1	2002							○	○	○	○	つながる1-4
105	上下水道局	サービス推進課	水道週間 川崎市小・中学生作品コンクール	1	14,095	1	1981							○		○		伝える2-2
106	上下水道局	サービス推進課	川崎市小学生下水道作品コンクール	1	14,553	1	1991							○		○		伝える2-2
107	上下水道局	サービス推進課	浄水場施設見学	1	11,176	1	1955							○		○		つながる1-3
108	上下水道局	サービス推進課	副読本「川崎市の水道」	1	14,500	1	1978							○		○		伝える2-2
109	上下水道局	サービス推進課	副読本「川崎の下水道」	1	14,500	1	1978							○		○		伝える2-2
110	上下水道局	サービス推進課	水道出前教室の実施	4	437	4	2009							○		○		伝える2-2
111	上下水道局	サービス推進課	カッビーの下水道教室	5	457	5	2007							○		○		伝える2-2
112	交通局	安全・サービス課	エコドライブ指導者研修	1	3	昨年度同様	2006	○										伝える1-2
113	教育委員会事務局	総合教育センター	希望研修「理科教育」	1	53	1	2009		○	○								伝える2-2
114	教育委員会事務局	総合教育センター	総合的な学習の時間研修講座	1	36	1	2009			○								伝える2-2
115	教育委員会事務局	生涯学習推進課	環境出前授業(環境教育ボランティア派遣事業)	22	2,301	23	2009	○								○		伝える2-2
116	教育委員会事務局	青少年科学館	生田緑地観察会	29	1,055	36	1998			○		○	○	○	○	○		つながる1-2
117	教育委員会事務局	青少年科学館	子どものための昆虫学教室	3	51	3	2015			○		○		○				つながる1-2
118	教育委員会事務局	青少年科学館	子どものための植物学教室	3	32	3	2015			○		○		○				つながる1-2
119	教育委員会事務局	青少年科学館	自然ワークショップ	13	1,030	12	2011			○		○	○	○	○	○		つながる1-2
120	教育委員会事務局	青少年科学館	初心者のための植物観察講座	3	73	3	2014			○		○					○	つながる1-2
121	教育委員会事務局	青少年科学館	自然観察会	2	49	2	1984			○		○		○	○	○		つながる1-2
合計				1,176	374,462													

第6章 環境教育・学習の取組状況の評価

川崎市環境基本計画では、施策の進捗状況を確認するため、指標を設定して、目標の達成に向けた評価をしています。環境教育・学習の推進については、次のとおり指標が設定され、その達成状況を評価しています。

環境基本計画で定める指標	目標、基準年度を基にした指標がめざす方向
環境関連施設利用者数 (環境学習センター等入館者数)	【基準年度】生活環境学習室：3,706人、橋リサイクルコミュニティセンター学習室：103人（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況	【基準年度】出前ごみスクール：78回 ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境学習活動や環境保全活動等の 人材育成講座の修了生人数	【目標】2010年度から2020年度までに延べ800人 【基準年度】地域環境リーダー育成講座修了生：226人ほか (2009年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い
小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況	【基準年度】かわさき地球温暖化対策推進協議会による小学校への出前講座の実施ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：環境関連施設利用者数（環境学習センター等入館者数） エコ暮らし未来館：12,134人、橋リサイクルコミュニティセンター学習室：185人 (対前年度：2,779人減少、対基準年度：多い)	4*	4
■指標：環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況 出前ごみスクール122回、ふれあい出張講座99回開催 (対前年度15回増加、対基準年度：多い)	5	
■指標：環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生人数 地域環境リーダー、緑化推進リーダー、里山ボランティア等の人材育成講座修了生：延べ636人 (対前年度：57人増加、対基準年度：多い)	5	
■指標：小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況 川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクトによる出前授業78回開催 (対前年度：13回増加、対基準年度：多い)	5	
■指標：環境教育の体験の機会の場の認定数 ・5施設（対前年度：1施設増加、対基準年度：多い）	5*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

【指標の評価イメージ】

対前年度 対基準値 (対基準年度)	-	=	+
+(良い)	4	4.5	5
-(悪い)	1	1.5	2
=(同値)	2.5	3	3.5

評価 5 : 達成状況が対基準値、対前年度のいずれにおいても良い
(評価 4.5 : 達成状況が対基準値では良いが、対前年度は同値)
評価 4 : 達成状況が対基準値では良いが、対前年度では悪い
(評価 3.5 : 達成状況が対基準値では同値だが、対前年度では良い)
評価 3 : 達成状況が対基準値、対前年度のいずれも同値
(評価 2.5 : 達成状況が対基準値では同値だが、対前年度では悪い)
評価 2 : 達成状況が対基準値では悪いが、対前年度では良い
(評価 1.5 : 達成状況が対基準値では悪いが、対前年度は同値)
評価 1 : 達成状況が対基準値、対前年度のいずれにおいても悪い

参考

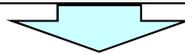
(1) 川崎市における環境教育・学習の位置づけ

川崎市環境基本条例（平成3年12月制定）

第7条

(6) 市民が人間と環境とのかかわりについて理解と認識を深め、責任ある行動が取れるよう、体系的な環境教育・学習の推進に努めること。

第8条 市長は、環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、地方自治法第2条第4項の規定に基づく基本構想を踏まえ、環境行政の基本指針となる川崎市環境基本計画を策定するものとする。



川崎市環境基本計画（平成6年2月策定・平成23年3月全面改定）

めざすべき環境像

「環境を守り 自然と調和した 活気あふれる 持続可能な市民都市・かわさき」

◆重点分野 環境教育・環境学習の推進

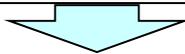
◎重点目標・指標

環境教育・環境学習に関する講座・講習会開催状況

環境学習活動や環境保全活動等の人材育成講座の修了生人数

小・中学校における市民、事業者との協働による環境教育講座等の開催状況

環境教育等促進法第8条に基づく
「行動計画」としての位置づけ



川崎市環境教育・学習基本方針

（平成7年11月策定（平成18年3月改訂）、平成28年3月改正）

環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドライン

【基本方針の目的】

川崎市環境基本計画に定める目標の実現に向けて、複雑化する環境問題に対応できる人材（多様な主体・問題の関連性への理解等）の育成や、市民活動団体、事業者、行政が協働・連携して取り組む環境教育・学習の体系的かつ効果的な推進を図るための基本的な方向性を示しています。

【基本的な方向性】

◆協働した取組の推進【つながる】

・市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組む

◆環境教育・学習を地域で実践【伝える】

・家庭や職場、地域、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促す

◆人材育成とその活用【活かす】

・地域環境リーダー等の人材育成や環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進

(2) 環境教育・学習を取り巻く世界、国及び川崎市の動き

	世界の動き、国の動き	川崎市の環境教育・学習関連の動き
1970年代	<p>1972 国連人間環境会議 ストックホルムで開催された環境問題に関する最初の世界的な政府間会議</p> <p>1975 国際環境教育会議 環境教育専門家による会合でベオグラード憲章を作成</p> <p>1977 環境教育政府間会議 環境教育に関するトビリシ政府間会議宣言（トビリシ宣言）</p>	<p>1972 公害防止条例を公布（全国を先駆けた総量規制の導入）</p> <p>1976 環境影響評価に関する条例を公布（全国を先駆けた環境悪化の未然防止の仕組みを導入）</p>
1980年代	<p>1987 環境と開発に関する世界委員会 持続可能な開発に向けた方策を提言したブルントラント報告</p>	<p>1986 総合教育センターが開設</p>
1990年代	<p>1992 国連環境開発会議 地球サミット。環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ 21、森林原則声明の合意、気候変動枠組み条約と生物多様性条約への署名が開始</p> <p>1993 環境基本法の制定</p> <p>1997 テサロニキ国際会議 環境教育を持続可能性に向けて変化するための備えを与えるものと定義</p>	<p>1990 ごみ非常事態宣言</p> <p>1991 環境基本条例を公布</p> <p>1994 環境基本計画を全国に先駆けて策定</p> <p>1995 環境教育・学習基本方針の策定</p> <p>1998 地域環境リーダー育成講座開始</p>
2000年代	<p>2002 国連環境開発会議 持続可能な開発に関する首脳会議 地球サミットの進歩の検証、ヨハネスブルク宣言の採択</p> <p>2005 国連持続可能な開発のための教育の10年開始</p> <p>2007 国際環境教育会議</p>	<p>2005 一般廃棄物処理基本計画の策定（かわさきチャレンジ3R）</p> <p>2006 環境教育・学習基本方針の改訂</p> <p>2007 エコドライブ宣言 多摩川プランの策定</p> <p>2008 緑の基本計画の改定 CCかわさきエコ戦略</p>
2010年～	<p>2011 環境教育等促進法に改正</p> <p>2012 Rio+20 地球サミットから20周年を迎える機会に開催のフォローアップ会合</p> <p>2013 第37回ユネスコ総会 2015年以降のESDの枠組みである「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」の採択</p> <p>2014 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議が名古屋・岡山で開催</p> <p>2015 国連持続可能な開発サミット 2030年までの持続可能な開発目標（SDG's）の採択</p>	<p>2010 地球温暖化対策推進計画の策定 CCかわさきエコ暮らし3つのチャレンジキャンペーン</p> <p>2011 環境基本計画の全面改定</p> <p>2012 一般廃棄物処理基本計画における行動計画の改定 水環境保全計画の策定</p> <p>2014 生物多様性かわさき戦略の策定</p> <p>2016 環境教育・学習基本方針を全面改正</p>



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

平成 29 年 1 月
川崎市環境局環境調整課